

I. 経緯

1 ～「風格あるまち千代田」の実現を目指して～

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会*と表記します）を契機として、千代田区では、「風格あるまち」の実現を目指すこととしました。

皇居周辺の環境整備、とりわけ、「北の丸公園周辺地域」は、区が主体的に整備できる施設に囲まれています。施設の整備、利用を千代田区が先導して進め、併せてマネジメントも含めたハード、ソフト両面で「オリンピックレガシー」の創造を図ります。

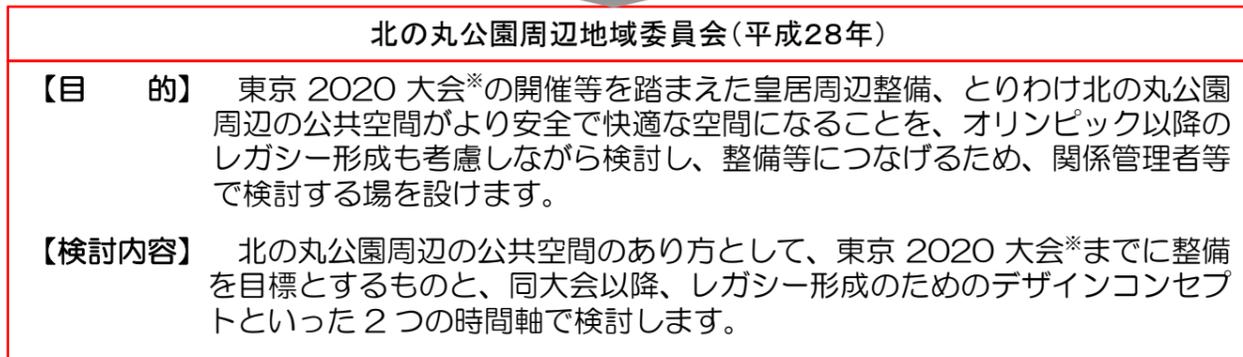
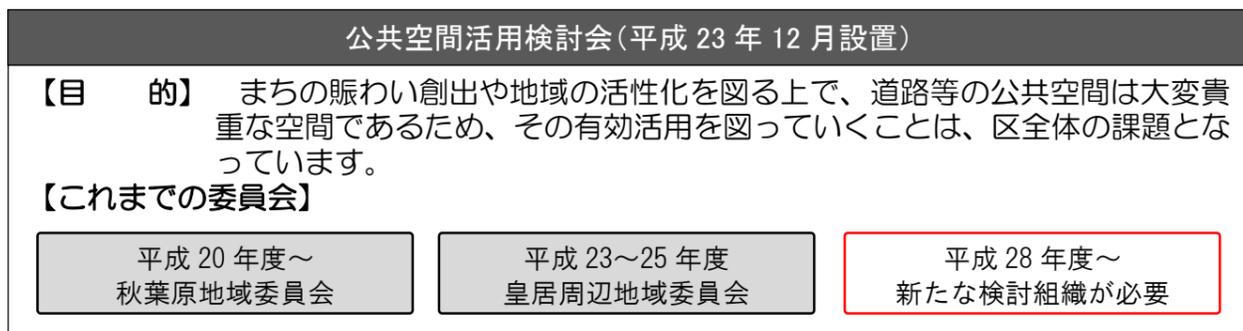
2 検討の方向

- 千代田区が整備を進めるにあたり、豊かな自然環境、時代を重ねた歴史的な景観、潤いのある水辺空間など、この地域の魅力を踏まえた取組みをすすめます。
- この地域は、区民、ボランティアの方々、道路や公園等公的施設の管理者、また、観光客・来街者など多様な人々が関わっています。そうした方々のご意見を頂き、検討を進めます。

3 検討の枠組みについて

(1) 地域委員会委員構成

北の丸公園周辺地域の公共空間整備に係る検討は、平成 28 年度より以下のとおり、「北の丸公園周辺地域委員会」で行われています。



(2) 地域委員会委員構成

表 地域委員会委員

平成 28 年 10 月 20 日現在

区分	所属・役職	氏名	
学識経験者	千代田区参与・公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター顧問	小澤 一郎	
	東京大学名誉教授・前文化庁長官	青柳 正規	
	日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授	阿部 貴弘	
地域・団体・企業等	富士見地区町会連合会 会長	向笠 滋	
	さくら美守り隊	窪田 憲子	
	公益財団法人日本科学技術振興財団 理事	新元 一弘	
	一般財団法人 国民公園協会 専務理事	伊藤 哲夫	
	千代田区商工振興連絡調整会議	木下 彩	
	一般社団法人おもてなしランナー協会	桃園 貴美子	
	株式会社ジェイティービー 観光戦略室観光立国推進担当マネージャー	山下 真輝	
	新産業文化創出研究所 所長	廣常 啓一	
	NPO 法人リーヴ・ウィズ・ドリーム 理事長	金子 久美子	
行政	国	国土交通省 関東運輸局観光部観光地域振興課長	岡村 清二
		環境省 皇居外苑管理事務所長	松本 俊男
		宮内庁 管理部管理課長	石原 秀樹
	都	第一建設事務所長	新谷 景一
		警察 麹町警察署長	衣川 淳一
	千代田区	地域振興部長・オリンピック・パラリンピック担当部長	立川 資久
		文化スポーツ担当部長	河合 芳則
		環境まちづくり部長	細越 正明
		まちづくり担当部長	坂田 融朗

(3) 検討の経過及び今後の予定

表 地域委員会での検討内容

回(開催日)	内容
第1回目委員会 (平成 28 年 10 月 20 日)	○ 北の丸公園周辺の位置づけ等を 4 点の視点で説明しました。 ○ 各委員のこれまでの活動や地域に対する考えを頂きました。
第2回目委員会 (平成 28 年 12 月 20 日)	○ ビデオで地域の現状を案内し、各委員に意見を頂きました。 ○ 地域の現状を特性や利用者等によるゾーンに分けて説明しました。 ○ 各委員に東京 2020 大会*時及び開催後においてどのようなことが必要なのかについて考えを頂きました。
第3回目委員会 (平成 29 年 2 月 21 日)	○ 基本構想(素案)を提示しました。
パブリックコメント	○ 平成 29 年 4 月 20 日～平成 29 年 5 月 8 日に実施
第4回目委員会 (平成 29 年 6 月 6 日)	○ 基本構想(案)の了承